

【氏名】 高口 知浩 (たかぐち ともひろ)

【職位】 講師

【学位】 修士 (子ども教育学、福岡県立大学)

【主な担当科目】 保育者論、子どもの理解と方法、保育内容総論、保育・教職実践演習
保育実習指導Ⅰ・Ⅱ、保育・教育基礎研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

【主な研究業績】

○著書等

1. 保育・幼児教育・子ども家庭福祉辞典、共著、ミネルヴァ書房、令和3年6月
2. 幼稚園・保育所から小学校へ 接続機の教育～安心感をもち、学ぶ意欲のある子ども～えがお・わくわく、共著、佐賀市教育委員会、平成28年3月

○学術論文

1. 高口知浩、職場の人間関係が早期離職と育成方法に与える影響について - 新人保育士の語りから - 純真紀要第63号、1-13、令和5年3月
2. 高口知浩・伊勢慎、同僚性の形成に向けた取り組みの変化について - コロナ禍前後の比較 - 、福岡県立大学人間社会学部紀要第31巻第1号、31-41、令和4年10月
3. 高口知浩・伊勢慎・橋口啓介、公立保育所における同僚性の形成に関する質的研究 - 離職保育者の語りから - 、福岡県立大学人間社会学部紀要第30巻第1号、1-20、令和3年10月
4. 矢野洋子・橋口文香・安東綾子・高木富士夫・高口知浩、実践力育成のための実習プログラムの構築 - 1日見学実習から次の実習に向けて - 、九州女子大学学術情報センター研究紀要2、131-140、平成31年3月
5. 田中敏明・中原希実・高口知浩、保育者と養護教諭を目指す学生の食への意識と食行動の実態、九州女子大学学術情報センター研究紀要2、19-27、平成31年3月

○学会発表等

1. 保育者の困り感における知識・技術獲得 - 情報収集の実態と経験年数の相違に着目して - 国際幼児教育学会、令和4年9月
2. 同僚性形成に向けた取り組みの変化と保育者の葛藤 - コロナ禍前後の比較より - 、日

本保育学会、令和4年5月

3. 同僚性の形成に関する質的研究 - 2年目保育士の語りから - 、国際幼児教育学会、令和3年9月
4. 保育の楽しさを失った元公立保育士が語る離職ストーリー、日本乳幼児教育学会、令和元年12月
5. 暗闇から抜け出せないまま離職に至った元公立保育士の葛藤～A保育士の語りから～、日本乳幼児教育学会、平成30年12月
6. 私はなぜやめなければいけなかったのか～元公立保育士の語りから探る園内の人間関係の在り方～、日本保育学会、平成30年5月

○その他 ※社会活動など

1. 南市民センター「企業・大学と学ぼう！語り合おう！会」講師（2024年）
2. 国際幼児教育学会選挙管理委員長（2023年）
3. 福岡市南区出前講座（大学版）派遣講師「子育てを楽しもう！」（2022年～）
4. 福岡県立大学非常勤講師（2021年～）